



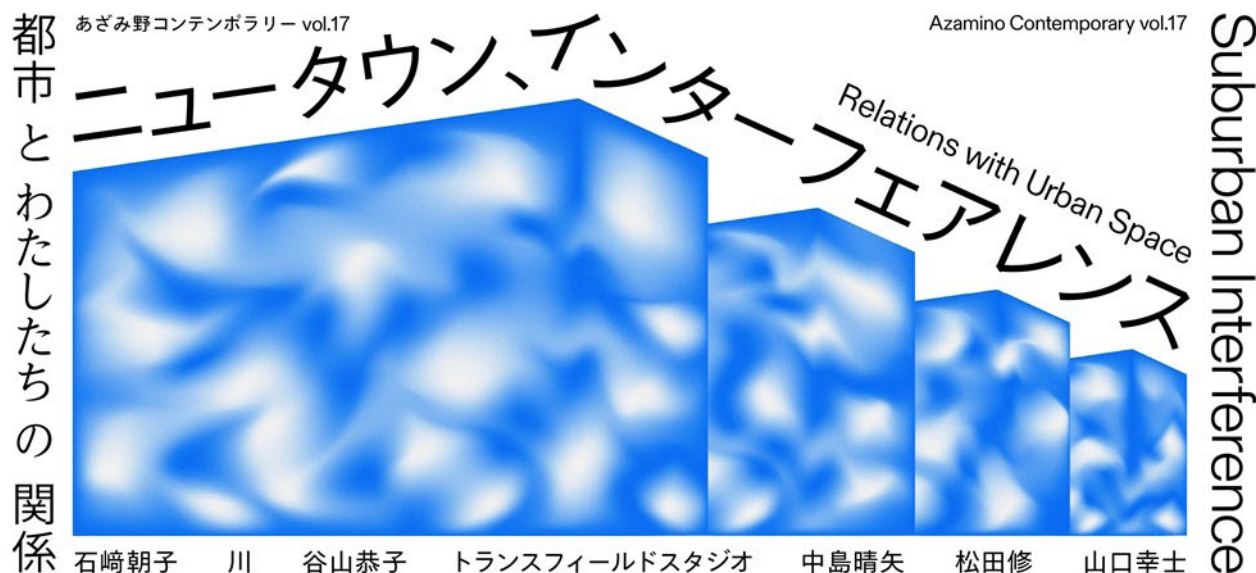
あざみ野コンテンポラリー vol.17

ニュータウン、インターフェアレンス 都市とわたしたちの関係

Azamino Contemporary vol.17

Suburban Interference: Relations with Urban Space

▶ 2026 年 10 月 10 日(土) ~ 11 月 3 日(火・祝)



■ 展覧会概要

展覧会名	あざみ野コンテンポラリー vol.17 ニュータウン、インターフェアレンス 都市とわたしたちの関係 Azamino Contemporary vol.17 Suburban Interference: Relations with Urban Space
会 期	2026 年 10 月 10 日(土) ~ 11 月 3 日(火・祝) 24 日間
休 館 日	10 月 26 日(月)
開場時間	11:00 ~ 18:00
料 金	一般 500 円 20 歳未満および学生・65 歳以上無料 (該当の方は入場の際に学生証・身分証等をご提示ください) *各種障害者手帳をお持ちの方と介護者 1 名は 無料 (ミライロ ID 可) *10 月 24 日、25 日(アートフォーラムあざみ野 21st アニバーサリー) は入場無料 *教育機関、福祉施設関係者の引率、下見は無料 (要事前予約)
会 場	横浜市民ギャラリーあざみ野 展示室 1・2
出品作家	石崎朝子、川谷山恭子、トランスフィールドスタジオ、中島晴矢、松田修、山口幸士
主 催	横浜市民ギャラリーあざみ野 (公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)
助 成	一般財団法人地域創造
協 力	日本窯業史研究所、街のはなし実行委員会、無人島プロダクション、 (公財) 横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター、横浜市立山内小学校、横浜市歴史博物館

横浜のニュータウンの一面で、7組の作家と共に 「場所」と「わたし」の関わりについて考える展覧会

都市や土地との関係は、あらかじめ与えられるものだけではなく、見方や関わり方によって選り直すことができます。「あざみ野コンテポラリー」第17回となる本展では、郊外・ニュータウンなどの「都市」や「土地」のイメージをめぐり、人と場所との関係がどのように結ばれ、揺らいできたのかを、多様な作品を通して考えます。作品と都市との関わりをあらわす「乱入する」「なぞる」「連れる」などのキーワードとともに、7組のアーティストによる映像、インスタレーション、絵画、写真など約100点の作品を展示。さらに、横浜市民ギャラリーあざみ野が建つ場所にかつて存在した赤田古墳群の発掘調査資料などを紹介します。さまざまな表現が干渉（インターフェアレンス）しあい、都市とわたしたちの新たな関係を見出します。



中島晴矢《パリ・トゥード in ニュータウン》2014

■ みどころ

- ▶ あざみ野での上映にあわせてアップデートされた映像や、あざみ野での土地の
リサーチをもとに生まれた新作の大型インスタレーション、都市を歩きながら
描いた新作絵画など、**出品総数約100点**にのぼる力作が並びます。
- ▶ 映像、インスタレーション、絵画、写真といった多様な表現形式を通して、
様々な**土地・都市の息づかい**を感じることができます。
- ▶ 横浜市民ギャラリーあざみ野が建つ場所は6世紀後半の有力者たちのお墓だった!?
展覧会導入部では**赤田古墳群**の発掘調査資料をご紹介します。



■ 出品作家プロフィール



石崎朝子+加藤広太《City Statement》2025
撮影：木暮伸也 (Lo.cul.pstudio)



石崎朝子 Ishizaki Asako

増田甚八 / Jinpachi Masuda

1996年栃木県生まれ。アーティスト。彫刻、映像、写真を用いて制作活動を行う。都市の中に身を置き、身体的な経験を通して観測することや、街中に残る痕跡の収集を起点に、都市の風景に潜む別の見方を立ち上げる作品を発表している。



《Hoshito Tamura, ollie》2020



川 Kawa

2016年に荒川晋作と関川徳之、2人のフォトグラファーが始めたプロジェクト。チーム名は名前に共通する「川」の文字に由来。十代の頃よりスケートボードとカメラに没頭し、「スポット」を求めて津々浦々を流れる。2020年からは半年に一冊のペースで本をリリース。2026年春に9号目出版。



《Sound from the Golden Age》2021



谷山恭子 Taniyama Kyoko

Nihad Nino Pušija

1972年愛知県生まれ。幼少期をマレーシア・ボルネオで過ごし、2018年よりベルリン在住。土地に根ざした記憶や素材への関心から、インタビューやフィールドワークを通して得た語りやインスピレーションを、音や彫刻、映像のインスタレーションへと再構成。人と場所の関係性や、そこに潜む見えないつながりを探り続けている。



《Elevation, Stream》2024 撮影：Hyejeong Park



トランスフィールドスタジオ Transfield Studio

Yang Wei-chung

2018年に東京で結成した、山川陸と武田侑子によるユニット。国内外でフィールドワークを行いながら、「どうすれば集まった我々は共にいられるのか」という問いを軸に、オーディオガイドやマップを用いたツアー型作品の上演、写真や映像、模型などを用いた展示を行う。



《バーリー・トゥード in ニュータウン》2014



松藤浩之

中島晴矢 Nakajima Haruya

1989 年神奈川県生まれ。近代文学・サブカルチャー・都市論などを補助線に、現代美術・文筆・ラップといった領域横断的な活動を展開。ユーモアとアイロニーを散りばめたアクチュアルかつ批評的な表現をミクストメディアで実践している。



《いるか》2023



皆藤将

松田修 Matsuda Osamu

1979 年兵庫県生まれ。映像や立体、ドローイングなどさまざまなメディアを用いた表現で、社会に潜む問題や現象、風俗をモチーフに、「生」や「死」といった普遍的なテーマに取り組む。近年は、コロナ禍における貧困層の現実など、自身の生い立ちや経験をふまえた当事者意識に基づく作品を多数発表。



《Untitled》2023



山口幸士 Yamaguchi Koji

1982 年神奈川県川崎市生まれ。スケートボードで街を滑っていた視点を軸に、日常の風景やオブジェクトを通して言葉にはできない自身の感情や時間の流れ、背景にある物語や歴史が透けるような絵画表現を試みている。

赤田 2 号墳資料

赤田 2 号墳は、アートフォーラムあざみ野のすぐ近くで発掘された古墳の一つです。都市開発により遺構は失われましたが、実寸大のレプリカが近隣の公園に残されています。本展では、発掘時の資料を通して、都市が土地の歴史を上書きしながら成立してきたことを紹介します。

とことこ調査団

とことこ調査団は、山内小学校の 5 年生があざみ野のまちを歩き、気づいたことや見つけた風景を写真に撮りタイトルをつけるプロジェクトです。全 2 回の授業の様子や子どもたちが撮影した写真、それを 1 冊にまとめた ZINE などを紹介します。この場所に暮らす子どもたちのまなざしが、日々更新されるまちの姿を照らします。



■関連イベント ※申込方法・詳細、その他のイベントはウェブサイトをご確認ください。

アーティストによるギャラリートーク

日時 | 10月10日(土)
1部 14:45～15:30 石崎朝子、中島晴矢、山口幸士
2部 15:45～16:45 川、谷山恭子、トランスフィールドスタジオ、松田修
会場 | 展示室1・2
料金 | 無料(事前申込不要、要観覧会入場券)

街を歩く、街を聴くー谷山恭子アーティストトーク

日時 | 10月11日(日) 14:00～15:00
出演 | 谷山恭子
会場 | 3F アトリエ
定員 | 50名(要事前申込、先着順)
料金 | 無料(観覧会入場券をご提示ください)



担当学芸員によるミニギャラリートーク

日時 | 10月24日(土) 13:00～13:30
10月25日(日) 11:00～11:30
会場 | 展示室1・2
事前申込不要、参加無料(当日は21th アニバーサリーのため入場無料)

ニュータウン路上観察ーアーティストとあざみ野をディグるー

日時 | 10月31日(土) 13:30～16:30
※荒天の場合は11月1日(日)に変更
出演 | 中島晴矢、石崎朝子
会場 | 3F アトリエ、あざみ野周辺
定員 | 12歳以上、10名(要事前申込、先着順)
料金 | 3,000円

■同時開催

- ・フェローアートギャラリー vol.59
西澤美枝 展
会期:2026年9月15日(火)～11月29日(日)
会場:2F ラウンジ
- ・Collection in the Lobby
自然観察とカメラ
会期:2026年9月26日(土)～10月18日(日)
会場:1F エントランスロビー
- ・Collection in the Lobby
いろいろなかたちの一眼レフ
会期:2026年10月20日(火)～11月8日(日)
会場:1F エントランスロビー

◎本展では、レセプションを開催します。日時 | 10月10日(土) 17:15～19:00

レセプションの詳細、出品作家へのインタビュー取材のご希望・広報用画像のご請求等は、お問合せ先まで。

【保育について】

施設内に保育室があります。詳しくはウェブサイトをご覧ください、ご利用の際は運営者(アートフォーラムあざみ野 子どもの部屋 TEL:045-910-5724)へお問合せください。

会場・お問合せ

横浜市民ギャラリーあざみ野

展覧会担当:北川、佐藤 広報担当:福谷
〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南 1-17-3 アートフォーラムあざみ野内
TEL 045-910-5656 info@artazamino.jp https://artazamino.jp/

交通のご案内

東急田園都市線「あざみ野駅」東口 徒歩5分
横浜市営地下鉄「あざみ野駅」1・2番出口 徒歩5分
駐車場23台(有料)

